

第116回勉強会「ジオラボ」のご案内

主催:(公社)地盤工学会九州支部/長崎地盤研究会

共催:長崎県測量設計コンサルタンツ協会 後援:長崎県技術士会

日 時:平成30年6月15日(金)14:00~17:30

会 場:佐世保市男女共同参画推進センター「スピカ」研修室2

(佐世保市三浦町2番3号 アルカス SASEBO 2階 / TEL:0956-23-3828)

<http://www.city.sasebo.lg.jp/siminseikatu/jinken/spica.html>

参加費:1,000円(資料代含む)

話題提供:14:00~17:00(①:14:00~15:30/②:15:30~17:00の予定)

①道路トンネル維持管理への取組の一事例 ~覆工の振動特性に着目した健全性診断の試み~ 谷口 徹也 様(西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社)

概要:一般に、トンネル定期点検による変状の把握は、近接目視、打音により実施される。しかし本点検手法は、基本的に交通規制内作業である。点検技術者は、事故リスクが高く限られた時間の中で、継続的な上向き姿勢の苦渋作業を行っている。また、およそ1万箇所定期点検の実施は道半ばである。一方、点検技術者の不足による未熟な点検作業も懸念される。このような状況では、変状の見落としや記録漏れ、事故の発生が問題点となる。

トンネル覆工の健全度評価は、点検技術者が定性的に変状の対策区分を判定し評価している。しかしこの評価手法では、トンネル覆工の剛性は評価されないため、トンネル覆工の補強の要否を判断する場合、さらに詳細調査が必要である。本講演は、トンネル覆工のひび割れ分布を効率的かつ正確に自動抽出、図面化するシステムの開発内容および、定量化したひび割れ分布と覆工本体の常時微動計測から、覆工の剛性を評価する手法の研究結果を発表する。

②私が携わった河川・砂防事業について

壇 誠 様(豊福設計株式会社)

概要:1976年(昭和51年)4月に長崎県庁へ入庁し、河川・砂防事業に携わりました。本講演では、湯田地区(老岐市)急傾斜地崩壊防止施設の変状対策としてアンカー工の施工、地すべりにより河道閉塞した谷川(佐世保市)の流出防止のための砂防施設建設や千綿川(東彼杵町)の砂防施設への魚道整備、日野川(佐世保市)河川改修工事おいての軟弱地盤対策、中島川(長崎市)とまちづくりについて講演いたします。

長崎地盤研究会ミーティング:17:00~17:30 / 懇親会:18:00~(会場周辺を予定)

※ご参加いただいた皆さまに、建設系CPD協議会(地盤工学会)継続教育参加証もしくは測量系CPD協議会継続教育参加証を発行いたします。

お申込みについて:勉強会へご参加の方は、配布資料の準備のため下記宛先までご連絡いただくと幸いです。

なお懇親会にご参加予定の方は、予約手配の都合のため、事前にその旨ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

お申し込み先:長崎大学大学院 工学研究科 システム科学部門 杉本 FAX:095-819-2627 E-mail:s-sugi@nagasaki-u.ac.jp